

「健康とウェルビーイングに資する都市緑地」 -Urban green space for health and well-being-



© Victoria Tetley, vjt photography

2023.1.25(水)

15:00 - 17:00

オンライン (Zoom)

定員 150名 / 要申込

参加費 無料



Peatix

コロナ禍で都市緑地が健康やウェルビーイングに果たす役割が再認識されるなか、World Urban Parks ジャパンはWHO欧州地域事務局発行の「都市緑地：実践のためのガイドブック」(2017年)の日本語版をWHOの承諾を得て作成しました。本講演会では、WHO欧州地域事務局のMatthias Braubach氏に都市緑地の役割についてご講演いただき、それを受けて、日本においてその役割をどう実現させていくかについて、日本人による講演とクロストークを行います。

造園CPD
認定プログラム
2.0単位



講演① 「都市の自然と健康との関連性 “Urban nature and its health relevance”」 日本語字幕付

マティアスブラウバッハ Matthias BRAUBACH (MPH/MSc)

WHO欧州地域事務局欧州環境健康センター テクニカルオフィサー(都市における健康の公平性担当)
都市緑地が健康とウェルビーイングの向上に果たす役割と都市においてその役割をどう実現するかについてご講演いただきます。*この講演は事前収録、「都市緑地：実践のためのガイドブック」を踏まえた日本語字幕を付けています。



講演② 「ウェルビーイングと都市緑地」

小野 隆 Ryu ONO

World Urban Parksジャパン理事 / (一社)公園からの健康づくりネット理事

都市緑地を用いて、健康やウェルビーイングの向上をどう図るかについてご講演いただきます。

クロストーク 「健康とウェルビーイングに資する都市緑地」

小野 隆 Ryu ONO

World Urban Parksジャパン理事
(一社)公園からの健康づくりネット理事



町田 誠 Makoto MACHIDA

World Urban Parksジャパン指名理事
(一財)公園財団 常務理事



《お問合せ》

公園財団 公園管理運営研究所 (嶺岸・大竹)

TEL : 03-6674-1188 FAX : 03-6674-1190

Email : staff-midori@prf.or.jp

主催 : World Urban Parksジャパン
(一財)公園財団

後援 : (一社)日本公園緑地協会 (一社)公園管理運営士会
(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会
(一社)公園からの健康づくりネット

「健康とウェルビーイングに資する都市緑地」

-Urban green space for health and well-being-

日時：2023年1月25日(水) 15:00-17:00 オンライン (Zoom)

定員：150名

参加費：無料

■ プログラム

15:00 開会挨拶

15:05 講演① 「都市の自然と健康との関連性 “Urban nature and its health relevance”」 日本語字幕付
マティアスブラウバッハ Matthias BRAUBACH
WHO欧州地域事務局欧州環境健康センター テクニカルオフィサー(都市における健康の公平性担当)

16:05 講演② 「ウェルビーイングと都市緑地」
小野 隆 World Urban Parksジャパン理事/(一社)公園からの健康づくりネット理事

16:35 クロストーク「健康とウェルビーイングに資する都市緑地」
小野 隆 World Urban Parksジャパン理事 / (一社)公園からの健康づくりネット理事
町田 誠 World Urban Parksジャパン指名理事/(一財)公園財団 常務理事

17:00 閉会

■ 申込方法 【12月1日(木)より申込開始】

QRコードをスマートフォンのカメラで読み込み、Peatixよりお申し込みください。
または、World Urban ParksジャパンのホームページよりPeatixにお入りください。

◆申込締切：2023年1月18日(水)

【注意事項】

- ・お電話でのお申し込みは承っておりませんので、予めご了承ください。
- ・配信内容の録画/録音はご遠慮ください。



講演者紹介



マティアスブラウバッハ Matthias BRAUBACH (MPH/MSc)

WHO欧州地域事務局欧州環境健康センター テクニカルオフィサー(都市における健康の公平性担当)

都市における環境リスクが健康に及ぼす影響を重点的に研究されています。特に、都市のレジリエンスを考えるうえで都市計画に環境衛生を組み入れること、都市の自然が健康にもたらす便益、そしてその便益と環境リスクが必ずしも都市住民に平等配分されていないことに注目されています。WHOの様々な報告書や学術出版物の編纂に携わり、都市環境、公平性、健康に関する多くのEUプロジェクトに参加されています。

World Urban Parks ジャパンとは

World Urban Parks ジャパンは、World Urban Parks* (WUP:世界都市公園会議)の会員であり、日本のWUP会員を束ねる組織です。会員が相互に連繋協調しながら、国内はもとより国際的に、今後の公園管理や公園利用のあり方について貢献することを目的として活動しています。

*WUPは、都市公園、オープンスペース、レクリエーション分野を代表する非営利の国際的な会員組織です。「人々が質の高い公園、オープンスペース及びレクリエーションに価値を認め、簡単にアクセスできる世界の実現」をビジョンとして活動しています。



【本講演会の中で取り上げるガイドブックのご紹介】

WHO欧州地域事務局(2017), Urban green spaces: a brief for action

World Urban Parks ジャパンは、WHOの承諾を得てこのガイドブックを翻訳し、「都市緑地：実践のためのガイドブック日本語版」を作成しました。

[World Urban Parks ジャパンHPよりダウンロードできます。](https://worldurbanparksjapan.jp/)



<https://worldurbanparksjapan.jp/>